

3年間をふりかえって -3年学年PTAの皆さまより-

楽しかったPTA活動

稲垣 有加 さん(3年学年PTA)

とにかく楽しかったPTA活動でした。役員をすることで学校と子どもを近くに感じることが出来ました。きっかけは先輩ママの、高校の役員は絶対受けたほうが良いよ、だって子どもは学校の話してくれないから。その言葉で妙に納得し、役員に参加しました。

一番の思い出は学園祭です。感染状況によっていつもどうなるのかわかりませんでした。それでも集まった役員さんたちの、子どもたちに思い出をつくらせてあげたいという団結力は本当に良い仲間に恵まれたと感じています。

自分自身が楽しむ。子育ての悩みを打ち明けたり、バスツアーで笑い合ったり。高校生生活を共に過ごした気分です。先生や役員の皆さま、3年間本当にありがとうございました。



3年間のありがとう

神谷 真弓 さん(3年学年PTA)

娘が入学し、私のPTA活動がスタートしました。何となく始めた役員ですが3年間アツという間で私も娘に負けじと楽しませて頂きました。卒業生でもある私は安学に愛着しかありません。私立の良いところで先生方もお世話になった先生ばかり、当時の思い出が蘇ります。

PTAは大人のクラスのように、仲間と団結し、1つのモノを作り上げていき、時には研修という名の遠足に行くような気分で時間を過ごさせて頂きました。おたんちんな私でも仲間が支えてくださり代表を務めることが出来ました。3年間、本当にありがとうございました。



感謝!感謝!

角田 浩美 さん(3年学年PTA)

『やってもいいけど目立たないで』と娘に注意を受けながら静かに始めたPTA活動ですが、気がつけばオータムフェスの司会として壇上にいる私。最初こそ嫌がられたけど、学年が上がるにつれて娘が『いつも楽しそうだね。私も少し関わってみる』と自分から一歩踏み出した時はすごく嬉しかったです。お互いに情報を共有しながら学園祭を一緒に作り上げていく時間はまさに宝物です。

3年間ともやり方や売場の変更があっても皆んなでアイデアを出し合ってやり遂げられたのも共に協力してくれた仲間達がいるからこそ。娘の成長と、大好きな仲間に出会うことができたのは安城学園のお陰です。ありがとうございました!



3年次の学園祭



吹奏楽部 応援



女子バスケット 応援 ウインターカップ



[笑顔]



PTA 副会長

松田 恵

新型コロナウイルスが5類になったことで、学校生活や行事に活気が増えてきたように感じます。

コロナ禍を通じて学んだ考えや、活動を活かしコロナ前とは違う新たな形での行事、学校生活を再開させたことでたくさんのキラキラした笑顔を見ることができたのではないのでしょうか。やはり学校という場所はこうでないといけない、と校長先生も仰っていました。学園祭ではPTAをはじめ、たくさんの模擬店などで保護者の方の素敵な笑顔を見ることができました。やはり笑顔は連鎖しますね。これからも安学生の皆さんの活躍を通じて素敵な笑顔が見られると嬉しいです。

最後になりましたが、本年度もPTA活動にご協力頂きありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。



PTA役員
座談会

3年間の PTA活動 思い出トーク

お子さんとともに、
安城学園高等学校で活動されてきた
PTA役員の皆さん。
生徒と同じようにPTAも「卒業」を迎えます。
この3年を振り返り、さまざまな思い出や
感想を語っていただきました。



参加メンバー

- 会長 松原 真樹さん
- 副会長 清水 哲一さん
- 監査 杉浦 仁司さん
- 書記 佐藤 宏美さん
- 広報 中元 真衣さん



最後に、1・2年生の保護者の皆さんに、卒業するPTA役員としてメッセージをお願いします。

杉浦 小・中学校でもPTAをやりましたが、ここのPTA活動は明らかに違います。自分で新しいものにチャレンジし、失敗しても許される風土がある。主体的にPTAを楽しんでみてください。

佐藤 子どもと一緒に学校生活を肌で感じるこって貴重だと思います。子どもと一緒に行事に参加し、自分も成長する。そんな素晴らしい場だと思います。

中元 すべての行事に参加できなかったことを悔やんでいます。行っておけば良かったと思うことが幾つもありました。形にとらわれず、皆さんの色を生かし、楽しんで活動していただきたいですね。

清水 PTAという堅いイメージがあるかと思います。私もそう思っていました。体験に行って度肝を抜かれました。参加できない場合でも、だれかがフォローしてくれます。百聞は一見にしかず。ぜひ一度、PTA活動を体験してみてください。

松原 コロナ禍で、思うように活動できなかった前役員さんから、他の人に伝えほしいと言われた言葉があります。それは「できる時に行って、できる時にやって」。これが私からのメッセージです。



3年間のPTA活動を振り返り、楽しかったこと、苦しかったことなど感想をお願いします。

松原 私は上の子もいて、6年間のPTA活動でした。新しい人と知り合え、良い影響を受けたり、その人の意外な長所を発見できたり。交友を広げ人間関係を学ぶ上でもPTAは素晴らしい場所でした。

清水 3年間のうち、1年半ぐらいはコロナ禍による影響を受けました。人との距離感を縮めて交流することが難しい中でしたが、学園祭のお菓子作りや、私学振興会で政治家の方々と話す機会があるなど、PTA役員でしかできない体験ができました。



清水 哲一さん



杉浦 仁司さん

杉浦 参加したのは実質ここ1年ぐらいでした。正直、後悔しています。もっと早くからPTAに参加すればよかったと。それほど楽しい活動でした。中学3年の息子も、できれば安城学園に入学してほしいですね。

佐藤 みんなで協力し合って活動した3年間。大人になると、なかなかそのような場所や機会はありません。そのすべてが貴重な体験で、良かったなという思いしかありません。ありがとうございました。



中元 真衣さん

中元 1、2年目はコロナ禍で、学校行事にもさまざまな制限がありました。娘は「楽しい」と言ってくれました。私も同様の気持ちです。娘は先生のことを「ちゃん」付けて話していて、フレンドリーな学校なんだなと思いました。

お子さんが安城学園高等学校に入学して、どのような感想をお持ちですか？

松原 こども教育・芸術コースがあり、系列の学泉大学から保育士へと進む道がある。これは娘にとって魅力で、小学生の頃から「安城学園に行きたい」と言っていました。進路で苦

しむこともなく、充実した高校生活が送れていると思います。娘は中学生時代、半分ぐらいは不登校でした。学校に行く意志を見せたことがなかったのに、今では「学校が楽しい」と言って学校に行きます。自分の考え方が180度変わったようです。良い学びをいただきました。

佐藤 まず、母子家庭の母親としては、私学の助成金を受けられて助かっています。娘も安城学園の自由な雰囲気が合っているようで、人との接し方や、考え方が変わったと言っていました。



佐藤 宏美さん

中元 娘にとって「福島ひまわり里親プロジェクト」の参加が大きな転機になりました。震災で心に傷を負った人を癒やしたいと、心理学を習得し、福島で働きたいと言っています。将来の目標ができ、先生方には感謝しています。

清水 引っ込み思案だった娘が、安城学園に入って友達が増え「東京に行く」「コンサートに行く」と言ってきました。また、モータースポーツが好きな私と同じように、「バイクの免許を取りたい」「車関係の仕事に就きたい」とも言います。いろんな面が引き出されて、成長を実感しました。



松原 真樹さん